



## 株式会社プログレスジャパン

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、事業活動を通して持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2026年2月  
株式会社プログレスジャパン  
代表取締役 川崎 美恵子

### 取組事例

#### 環境に配慮した持続可能な事業活動

軽量で低アレルギー性かつ耐久性に優れたチタンメタルフレームの製造を通じて、人と環境にやさしいものづくりを実現し、持続可能な社会の実現に貢献いたします。

《具体的な取組み》

- ・ 中古機器や備品の再利用
- ・ 設備の耐久性向上への工夫による環境負荷低減への取組み
- ・ 帳票の電子化によるペーパーレスの推進
- ・ 定期メンテナンスによる機械設備の長期利用促進
- ・ LED照明や省エネ設備の導入による省エネの実践
- ・ 太陽光パネルの導入による再生可能エネルギーの活用



#### 働きやすい職場環境の実現

性別、年齢に関係なく自分らしい働き方を可能にし、一人ひとりの安全と健康を最優先に、従業員とその家族が安心して働き続けられる職場づくりを行ってまいります。

《具体的な取組み》

- ・ 従業員の安全意識の定着
- ・ 工場内清掃徹底による衛生的で安全な作業環境の維持
- ・ 熱中症、粉塵、腰痛など健康リスクの対策を実施
- ・ 柔軟な勤務形態の整備や有給休暇取得の推奨
- ・ 現場OJTによる人材育成支援
- ・ 社内イベントを通じ、従業員同士の交流とチームワークを促進

#### 地域貢献・社会貢献

私たちはお客さま・地域のみなさまとの関わりを通じて、ともに成長し、地域社会の発展に貢献する取組みを行ってまいります。

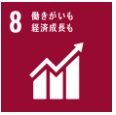
《具体的な取組み》

- ・ 地元企業との協力を通じて、県産業の発展に貢献
- ・ 地元人材の積極的な雇用
- ・ 地域イベントへの参加、協力
- ・ 外国人人材と地域コミュニティとの交流機会の創出
- ・ 学生への課外授業実施による次世代育成支援
- ・ 技術勉強会の講師協力



持続可能な開発目標(SDGs)とは

経済・社会・環境の三つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の指標として、2015年9月に国連で採択。貧困や飢餓、水や保健、教育、医療、言論の自由やジェンダーなど、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成するという目標になっており、17のゴール(目標)と169項目のターゲット(達成基準)がある。



## 事業内容

### ■眼鏡メタルフレームの研磨/レーザー刻印業務

当社は、眼鏡フレームメーカーとして創業し、2011年より株式会社プログレスジャパンを設立いたしました。現在、研磨業をメインとする事業を展開、またレーザーマーキング設備を導入し、レーザー刻印サービスも提供しております。

福井県鯖江市は、眼鏡に関する各工程の専門会社が集中し、国内生産の9割以上の高いシェア率を誇っています。しかし昨今では、眼鏡製造の機械生産化や職人の高齢化、職人の減少といった課題に直面しております。

このような状況の中で、当社にはエネルギー溢れる若き職人が集い、県内トップクラスのキャパシティを抱えております。これまで職人の方々が紡いできた技術・経験・ノウハウを受け継ぎ、さらに発展し続けることができる力強い会社であると自負しております。

### 研磨工程作業



## メッセージ

### ～働きやすい職場環境の実現を目指します～



#### ①未経験者歓迎

→未経験の方でも技術者として成長できます。自らが製造に携わった眼鏡が街にある。そんな誇れる仕事を一緒にしましょう。

#### ②チームワーク重視

→従業員同士のチームワーク重視で仲間と一緒にものづくりをしましょう。仲間との信頼がより良い品質につながります。チームワークを高めるため、社員旅行やレクリエーションなどの交流機会があります。

#### ③能力主義による昇給・評価

→年功序列に関係なく、能力や実績による昇給・昇格を実施します。従業員一人ひとりの成長が会社の発展につながります。



専務取締役 川崎 寛弥



眼鏡完成品(研磨後)



社員旅行①



社員旅行②